



検索

ニュースカテゴリー

## ナースコールが押される前に会いに行く

あとで読む

【尊厳ある介護（63）】認知症の人には感情に訴えて関係を築く

公開日：2018/12/07 (ソサエティ, 未分類)

里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長）

施設入居者の松山米子さん（仮名83歳）が、またナースコールを押されました。スタッフがお部屋を覗くと「おしっこに行きたい」と言われます。トイレにお連れしましたが出ませんでした。



[morgueFile license](#)

松山さんは何かにつかまれば立つことはできますが、歩行が困難なので車いすを常用していました。食事の時以外は部屋に閉じこもって、ベッドに横たわり肌身離さずナースコールを握っています。

ナースコールが鳴ればその都度スタッフはお部屋に行くのですが、物忘れが酷く押したことさえ忘れていることもあります。

それでも昼間は何とかなりますか、夜間帯はスタッフが少ないので困ります。松山さんの頻繁なナースコールに対応していると、他の緊急性の高い利用者の対応が遅れてしまうことがあるからです。

そこで、私たちはどのような時に何と言ってナースコールを鳴らすのか記録を取ることにしました。すると、「トイレ」「頭が痛い」「主人に会いたい」などと言われ、多い時は1日に50回近くナースコールを押すことが分かりました。

また、「おしっこ」と言われトイレ誘導しても実際は出ないことが多く、実は不安と淋しさから押しているのではないかと推察しました。

その不安と淋しさを軽減するために考えたことは、松山さんがナースコールを押す前にお部屋に行くことです。そして、「お顔を見にきましたよ」と声をかけるのです。

認知症があるのでその声掛けも忘れてしまうかもしれませんが、「嬉しい」などの感情は残ります。それが大切です。

ナースコールを押した後に訪室したとしても当たり前なので、さほど嬉しくないのです。直ぐに行けず対応が遅れると不機嫌になることさえあります。

スタッフにしても緊急性もないのに何度も呼ばれると疲弊し、表情や口調に出てそれが松山さんに伝わらないとも限りません。積極的にお部屋を訪ねるのであれば、精神的にゆとりを持って接することができます。

早速ナースコール前の訪室を実行しましたが、10分ごとにナースコールを押すこともあって、結果後手に回ることが度々ありました。

ところがある日、主治医がその記録を見て夜間に睡眠が充分に取れていないことから、服薬の調整をしました。

その頃から松山さんは共用スペースでスタッフや利用者とお話をするようになり、ナースコールを押す回数が激減したのです。薬が効いたのか、それともスタッフの思いが通じて関係性ができたのか、理由ははっきりとしませんでした。落ち着いて過ごされるようになったのです。

このような事例は松山さんだけではありません。

沢木武さん（仮名93歳）は奥様に先立たれ独居生活をしていました。淋しさからか夜間度々大声で泣くことがあり、近所の人々の勧めで施設に入所しました。

ある時、「どうして家内が死んだことを隠していたのか。葬式を出すから今から家に帰る」と血相を変えて訴えられました。立ち話ではしっかり話を聞けないので、相談室に移動してしばらく傾聴していました。顔を見ると転倒したのか頬に傷があります。

「傷は痛みませんか」と聞くと、我に返った様子で「痛い」と言われたのです。「すぐに看護師に看てもらいましょう」と誘うと「こんな顔で葬式をするのは無理だ」と答えて、素直に看護師の所に行きその場は治まりました。

スタッフは急に激怒する沢木さんにどのように関われば良いのか困惑していました。

そこで、怒る前に定期的に個別に話を聞く時間を設けました。怒った後に話を聞いてもスタッフに良い感情を持つわけではないからです。その上、落ち着くまでかなりの忍耐と努力を要します。

すると、怒ることが少なくなったのです。また怒ったとしても、その時々不安を取り除く言葉かけをすると「分かった」と言って理解を示されるようになりました。

沢木さんは日頃から自分の話を聞いてくれるスタッフに好感を持つようになったのです。

認知症の人は記憶力や判断力は低下しますが、感情で覚えています。

だから「快の感情」が残るように接することが良い関係を築く肝なのです。

(注) 事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [タワマンの悲劇 地権者の旧住民と、新住民の軋轢](#)
- > [秋篠宮発言 朝毎、議論深めなかった政府を批判](#)
- > [ロシア経済、しぶとく好調 米欧制裁でも](#)
- > [韓国発「旭日旗は戦犯旗」は大ウソだ](#)

プロフィール

最近の投稿



## 里村 佳子(社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長)

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

[この記事編集](#)

<a href="#">ソクラとは</a>	<a href="#">FAQ</a>
<a href="#">編集長プロフィール</a>	<a href="#">利用規約</a>
<a href="#">利用案内</a>	<a href="#">プライバシーポリシー</a>
<a href="#">著作権について</a>	<a href="#">特定商取引法に基づく表示</a>
<a href="#">メーカーソクラ</a>	<a href="#">お問い合わせ</a>
<a href="#">お知らせ一覧</a>	<a href="#">コラムニストプロフィール</a>

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved